

令和6年度 第1回 新潟市歴史博物館運営協議会

日時:令和6年7月24日(水)午後2時00分～
会場:博物館本館2Fセミナー室

次 第

1 開会

2 館長あいさつ

3 議事

(1)今年度の館運営状況

- 1) 博物館
- 2) 旧小澤家住宅

(2)博物館事業の維持向上と運営協議会のあり方について

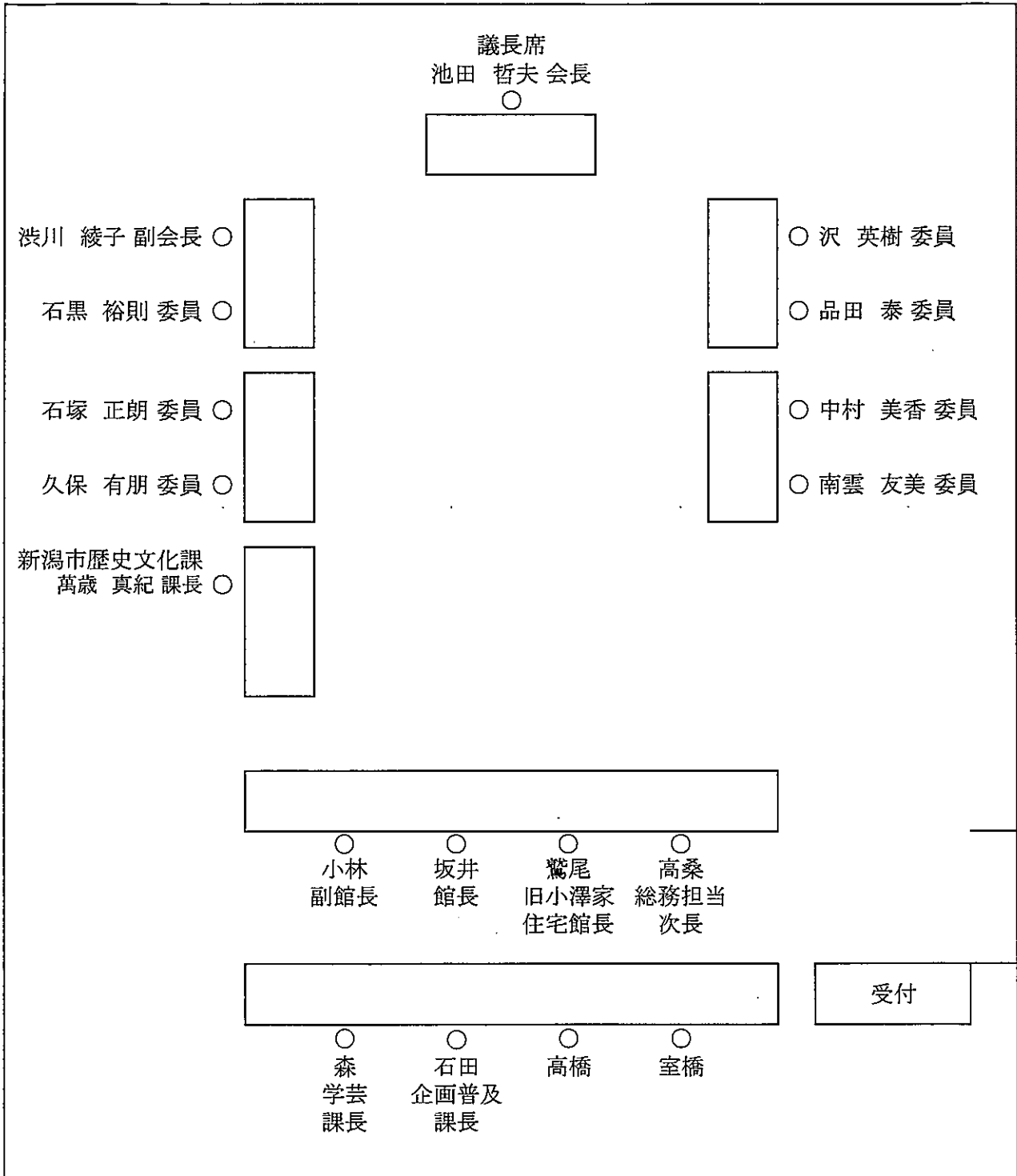
(3) その他

4 閉会

令和6年度第1回 新潟市歴史博物館運営協議会 席次

日時: 令和6年7月24日(水) 午後2時～

会場: 新潟市歴史博物館 本館2階 セミナー室



新潟市歴史博物館運営協議会
(R5～R6年度) 委員名簿

(令和6年7月8日現在)

| | 氏名 | 所属・推薦団体等 |
|----|--------|--------------------------|
| 1 | 池田 哲夫 | 新潟大学人文学部名誉教授(民俗) |
| 2 | 石黒 裕則 | 新潟市立木崎中学校長 |
| 3 | 石塚 正朗 | 新潟日報社 読者局 事業担当部長 |
| 4 | 大籬 裕一郎 | 新潟市小中学校PTA連合会 副会長 |
| 5 | 久保 有朋 | 古町花街の会 |
| 6 | 坂井 隆一 | 新潟市立和納小学校長 |
| 7 | 沢 英樹 | 日本旅行業協会 関東支部 新潟地区委員長 |
| 8 | 品田 泰 | BSN新潟放送 ビジネスプロデュース局 事業部長 |
| 9 | 渋川 綾子 | にいがた湊あねさま倶楽部 |
| 10 | 中村 美香 | (有)ミカユニバーサルデザインオフィス |
| 11 | 中村 元 | 新潟大学人文学部教授 |
| 12 | 南雲 友美 | 公募委員 |

(50音順)

| | | |
|--------|-------|----------|
| オブザーバー | 萬歳 真紀 | 歴史文化課 課長 |
|--------|-------|----------|

新潟市歴史博物館運営協議会 事務局 名簿

(令和6年7月8日現在)

| 役職 | | 氏名 |
|---------------|--------|-------|
| 新潟市歴史博物館 | | |
| | 館長 | 坂井 秀弥 |
| | 副館長 | 小林 隆幸 |
| | 総務担当次長 | 高桑 一代 |
| | 企画普及課長 | 石田 孝子 |
| | 学芸課長 | 森 行人 |
| | 職員 | 室橋 亜衣 |
| 新潟市文化財 旧小澤家住宅 | | |
| | 館長 | 鷺尾 雄二 |
| | 職員 | 高橋 久美 |

新潟市歴史博物館運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 館長は、新潟市歴史博物館（以下「博物館」という。）の運営について意見を聴くため、新潟市歴史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員)

第2条 協議会の委員は次に挙げるもので構成する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選抜された者
- (5) その他館長が必要と認めた者

(定数)

第3条 定員は15名以内とする。

(任期)

第4条 協議会の委員の任期は2年とし、令和5年4月1日から令和7年3月31日までとする。ただし、任期中に委員が交替する場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。なお、委員は再選されることは妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 協議会の会議は会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会長は、必要のあるとき、委員以外のものを会議に参加させることができる。ただし、その者は、採決に参加できない。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、新潟市歴史博物館企画普及課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は平成16年1月1日から施行する。

この要綱は平成17年7月27日から施行する。

この要綱は平成18年4月1日から施行する。

この要綱は平成20年4月1日から施行する。

この要綱は平成22年4月1日から施行する。

この要綱は平成23年4月1日から施行する。

この要綱は平成25年4月1日から施行する。

この要綱は平成27年4月1日から施行する。

この要綱は平成29年4月1日から施行する。

この要項は平成31年4月1日から施行する。

この要綱は令和3年4月1日から施行する。

この要綱は令和5年4月1日から施行する。

令和6年度 新潟市歴史博物館事業実施状況 中間報告

《基本理念》 「公の施設目標管理型評価書」より

資料収集・保存は調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし、展示や普及活動を通じて情報を発信する。そして、市民とともに地域認識を深め、市民に歴史や文化を題材とした多様な活動の機会を発信する。また、市民や利用者が、地域や博物館の情報や歴史資料に対して抱く疑問や意見について受け止め、博物館を市民や利用者との情報交換や交流を通じて新たな歴史を発見する場とする。

《運営方針》 「公の施設目標管理型評価書」に記載の「管理運営方針」より

- ① 新潟地域の歴史的特性を明らかにする。
- ② 市民の歴史に対する理解を深める。
- ③ 歴史を媒体とした市民交流を行う。
- ④ 市民の文化的・歴史的活動に寄与する。
- ⑤ 文化財を保存・活用する。

◆指定管理事業

公益財団法人新潟市芸術文化振興財団が指定管理者として、下記事業を実施している。

1 展示運営更新事業

| 事業名 | 事業概要 |
|---|---|
| 展示運営更新 | 新潟市の歴史を「水」をテーマに紹介。6月30日現在の観覧者数7,762人。また、部分展示替えとして「行田魁庵の人物画」(6/3～開催中)を実施。さらに、前年度から継続しているQRコードを使った英語の音声ガイドに加え、外国人対応としてコーナー単位での英文パネルを設置した。 |
| <p>成果・来館者の動向・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化に伴う故障中の映像機器は、継続した今後の課題。 ・音声ガイド(日・英・中・韓・ロ対応)も更新時期を迎えており、それに代わる機器もしくは方式の検討が必要。 ・映像解説、特にシニア層映像に関しては外国人及び聴覚障害者向けに字幕を求める意見を聞く。映像の更新及び新規制作に際して配慮が必要になる。 | |

2 企画展示事業

※R6.7月時点未実施※

| 事業名 | 開催期間 | 観覧料 | 事業概要 |
|---------------------------------------|--------------|---|--|
| ①「北前船と新潟」展 | 7月27日～9月11日 | 一般 500円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 無料 | 新潟市は北前船を主題とした日本遺産「荒波を超えた私たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成自治体である。北前船は江戸時代から明治時代にかけて、現在の北海道から大阪間の日本海航路において国内流通の一翼を担い、新潟をはじめ航路上の港町を大いに活気づけた。本展は北前船と新潟の関係語る資料を紹介し、日本海海運の歴史を紐解く。 また、市の重点事業として、市内に残る「北前船」関連文化財などをめぐるツアーや、川湊を訪ねるツアーを旅行社と共同で実施するほか、ウオーターシャトルを活用した子ども向けの体験イベントを開催する。 |
| ②第21回むかしのくらし展「くらしの環境」 | 9月14日～12月1日 | 無料 | 新潟市域は多様な環境を有し、人々はさまざまな形で自然を利用して生活を営んできた。地域の人々が営んできたくらしを環境という視点から振り返る。 |
| ③収蔵品展・新収蔵品展 同時開催「新令和版弘長寺二十五菩薩未迎図」展 | 12月14日～1月26日 | 無料 | テーマを設けて館が収蔵する資料を紹介する収蔵品展と、令和6年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。同時開催では、日本画家永吉秀司氏が手がけた「弘長寺壁画プロジェクト」(関川村)を紹介し、画家の地域貢献や新たな文化財修復方法を提唱する。 |
| ④「石川侃斎」展 | 2月8日～3月30日 | 一般 500円 高校生・大学生 300円 小学生・中学生 200円 | 江戸時代後期に活躍した新潟町の絵師 石川侃斎の本格的な山水画から、のどかな文人たちの理想の姿を描いたものまで、新潟の人々に愛され伝えられてきたそれらの作品から彼の画業を探る。 |

成果・来館者の動向・課題

・開館20周年を記念して開催する企画展「北前船と新潟」展では、新潟市も認定されている「北前船」の日本遺産のPRも兼ねており、これによって地域の文化資源に目を向ける市民や新潟の魅力に気づく観光客が増えることも期待される。
・「石川侃斎」展のテーマとなる石川侃斎を知る新潟市民はごく限られると推察され、来館者数増の期待は薄い。しかし新潟市出身の画家として時代の文化を築いた人物であり、その評価を地域の博物館が伝える意義は大きい。彼の業績や作品を一堂に会し考査を加え記録に残すことで、今後市民の糧となる歴史情報が追加されることになる。

3 教育普及事業

| 事業名 | 実施概要 |
|--------|--|
| ①体験の広場 | 体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを実施。茶の間の押入スペースを使った展示も博物館実習生とともに展示制作を進めている。 |

| | |
|----------------|---|
| <p>②博・学連携</p> | <p>小学生の見学や中学生の総合学習等に対する館内での対応のほか、ゲストティーチング等、学校へ出向いての授業にも参加。また、新潟大学へはこれまでの寄付講義に加え、教育学部の講義へも講師を派遣している。今年度はあらたに、教師向けに博物館を学習資源として理解を深めてもらうことをねらいに「先生のための『みなとびあオープンデー』」(8/6・7)を企画し準備を進めている。そのほか、ボランティアと共に、学校授業への対応を高めるべく実演を入れた研修を実施予定。なお、昨年度から始めた園児向けの「はじめてみなどびあ」プロジェクトも継続実施している。</p> <p>なお、公立中学校の部活動を「地域移行」することが進められており、文化部活動に際し当館との連携も図られている。8月8日(木)には新潟柳都中歴史文化クラブによるみなとびあバックヤード体験を実施予定。</p> |
| <p>③博物館実習</p> | <p>博物館実習のうち、新潟大学生を対象として、4月から11月までの毎月第四土日に実施する通年編(新潟大学4名)を開始、資料の収集・保存や展示公開、体験プログラムの企画、マネジメントなどを講義と実技で指導中。夏休みに10日間連続して実施する集中編(淑徳大学・大谷大学・明治大学・龍谷大学・東北芸術工科大学・高崎経済大学計6名)も準備中。</p> |
| <p>④講座</p> | <p>調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する各種講座のうち、博物館講座(年10回)をすでに実施中。館長講座・歴史講座「浜・潟・山の歴史とぐらし」を準備中。</p> <p>また、昨年度開催の歴史発見プロジェクト企画展「1964」展の成果を受け、新潟地震座談会を開催(6/8、参加者30名)。</p> |
| <p>⑤ボランティア</p> | <p>今年度の登録者一般134名、高校生21名。当館の活動に関心をもち、深く理解を示す市民が、自己実現と社会貢献をめざして館の活動に参加。敷地ガイド(2回延べ2人)・常設ガイド(33回延べ51人)、体験の広場のプログラムの実施・補助(7回延べ35人)を中心に、館の活動を支援。また、昨年度からの高校生ボランティア活動の支援も継続。現時点での高校生ボランティア登録者は継続新規あわせて37名。8/12に高校生ボランティアが企画運営を担うイベントを実施予定。</p> |

成果・参加者の動向・課題等

・園児向けの「はじめてみなどびあプロジェクト」は、昨年度の実施で園の先生方からの理解も得られ、本年度も入船保育園・赤沢保育園・大友中央保育園の年長組を対象に春の回の回を実施した。歴史的建造物などに触れることで、文化財の大切さなどを伝えている。

・ボランティア活動への需要は20年を経ても増えている。特に近年は高校生が参加して来っており、活動のあらたな展開を深める必要がある。

4 施設普及事業

| 事業名 | 実施概要 |
|--------------|---|
| <p>①広報</p> | <p>「北前船と新潟」展をはじめ企画展2展で地元マスコミと共催した広報を実施する。また、県外地方紙へ観光客誘発のための有料広告を掲載予定。</p> <p>上記のほか無料の広報媒体としてツイッターやインスタグラム等を利用し、日々情報発信に努めている。</p> |
| <p>②地域連携</p> | <p>地元市民団体と共催し、春に「堀と桜のコンサート」(4/7)を開催した。このほか夏季に「みなとしもまち・川まつり」を開催予定。</p> <p>そのほか、「令和5年度 信濃川・大河津分水写真コンテスト」展(4/19～4/29)、「NFTアートプロジェクト古写真展」(5/17)、「7.13 水害から20年巡回パネル展」(6/4～6/14)、阿賀野市所蔵の高精細複製品「池田孤郵筆 紅葉に流水・山景図屏風」展(7/10～開催中)をエントランスホールを会場に開催した。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>③みなとびあふアングラ ブ</p> | <p>会員数115名(6月末時点)。年間クラブ費600円(10月1日～翌年9月30日)。常設展及び企画展の観覧料を団体料金(2割引)で観覧することができる。博物館の情報を定期的に会員向けに提供するほか、会員を対象とした事業として館長バスツアー「城下町長岡の江戸から近現代をたどる―二度の戦災をのり越えて―」(6/16・参加者30名定員満席)を実施。秋には会員対象にした沼垂エリアのまちあるきを予定している。</p> |
| <p>成果・参加者の動向・課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報(情報発信)については運営協議会などからの提案を受け、インスタグラムの更新を増やしている。 ・外部団体との連携でエントランスホールを展示会場とする利用が増え、この有効性を受けて、所蔵品による「絵で涼む・清流図屏風」展(6/15～7/9)や「20周年企画展ポストター展」など館の企画も開催している。 ・施設運営の参考になるアンケートの記載場所については、テーブルや椅子を新たに導入・取り換えし、書くための雰囲気作りに配慮した。 | |

5 調査研究事業

| 事業名 | 実施概要 |
|-------|--|
| 調査・研究 | 新潟市の歴史を明らかにし、将来にわたって市民の知的財産になるための調査研究を実施。今年度はその成果の一部を研究紀要第21号にまとめるほか、各企画展および各学芸員の講座等で発表する。 |

成果・課題等

| |
|--|
| <p>・毎年「研究紀要」を発行し販売してきたが、一般への販売普及は少ない。印刷物からデジタルでの提供など検討する必要がある。</p> <p>・今年度、県主催の調査研究に関する協力依頼があったが、こうした他機関と共同研究は、実施方法も含め今後の課題。</p> |
|--|

6 資料収集・整理・保存・活用

| 事業名 | 実施概要 |
|------------|--|
| 資料収集・整理・保存 | <p>市の歴史に関する資料を収集し、市民共有の財産として整理・保存・活用する事業を実施。今年度は個人宅等へ20回以上の資料調査を行い、12名の方から資料寄贈を受け入れ、整理を進めている。</p> <p>また、資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示設備をはじめ、展示具を収める展示準備室、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校について、清掃や各種の保存環境調査、防虫対策のためのくん蒸など、IPM(総合的有害生物管理。環境に配慮し、必要以上に薬剤を使用せず、こまめな清掃や有害生物が館内に入りにくいような物理的環境を整える管理手法のこと。)に則った保存環境管理を行った。</p> |

成果・課題等

| |
|--|
| <p>・能登半島地震の被害を受けた家に関する寄贈の打診があった。災害と歴史資料の保存の課題は今回の地震でも明らかとなった。</p> <p>・資料を収蔵する本館収蔵庫及び旧税関・右庫・旧木場小学校のいずれにおいてもほぼ収蔵容積が満杯の状況となっていることから、新規資料の受け入れに大きな制約が生じている。各区で管理する資料、当館が受入れ管理する資料など方針の整理が必要。</p> |
|--|

7 管理運営

| 事業名 | 実施概要 |
|--|--|
| 管理運営 | 市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスに努め、歴史博物館・旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。 |
| <p>成果・課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サインはピクトグラムと英文を併用したものをあらたに設置した。 ・老朽化の影響で各所に不具合が生じている。特に目立つところは掘で、漏水により水を張れない状況が続いている。また芝生がはげ、野草と混在化しているため、全面的な張替えが必要になってきている。 ・空調設備の更新と照明のLED化等は喫緊の課題。 | |

◆付帯事業

| 事業名 | 実施概要 |
|--|----------------------|
| 物販 | 図録や歴史関連の書籍・グッズなどを販売。 |
| 自動販売機の設置 | |
| <p>成果・課題等</p> <p>観光客向けのオリジナルグッズの開発が課題。</p> | |

◆歴史発見プロジェクト（自主事業）

指定管理事業の補完的役割を果たす自主事業。特定費用準備資金制度にもとづいて実施。財源は団体・個人からの協賛金および学芸員が外部講師等をつとめた際

1 企画展示事業

| 事業名 | 開催期間 | 観覧料 | 事業概要 |
|-------------|------------|---------------|--|
| ①「新潟美人と花街」展 | 4月13日～6月9日 | 常設展観覧券の購入で観覧可 | 観覧者数4,858人。新潟の花街の女性を示す言葉であった「新潟美人」を題名に入れ、江戸時代から現在の古町花街と芸妓にいたるまでの経緯を、絵画や絵葉書、写真、書籍などの資料をもとに紹介した。 |

2 教育普及事業

| 事業名 | 実施概要 |
|-----------------|--|
| ①古文書上達講座 | 古文書学習の経験者を対象にした古文書の上達講座。毎月第4水曜日に実施 受講料5,000円 全10回 受講者43人 |
| ②みなとびあひこども歴史クラブ | 小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かっつての暮らしの知恵や文化財保護を考えるきっかけとする。毎月第3日曜日に実施 全11回 参加クラブ員14人(6月末時点) |
| ③大人の体験プログラム | 大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントとして「達人に学ぶ消しゴムハンコづくり(案)」を実施予定 |
| ④特別講演会 | 地域の歴史にとらわれず、幅広いテーマの中から選ぶ歴史講演会を実施している。今年度は大河ドラマでも描かれている平安時代の貴族をテーマに、その研究者を招聘して講演会を開催する。11月3日予定 |
| ⑤古町学 | 旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として、小学生課・中学生課を継続実施。 |
| ⑥外部講師・講座 | 民間や公民館、その他団体主催の講座・講演会などへ学芸員を講師として派遣している。 |

成果・参加者の動向・課題等

- ・協賛団体の理解と協力が事業の柱となっているため、協賛団体の募集やそのための営業活動が課題。
- ・「古町学」に関しては、小中学生の活動は継続実施しているが、一般向けについてはできておらず、今後の検討が必要。

令和6年度 歴史博物館 来館者内訳

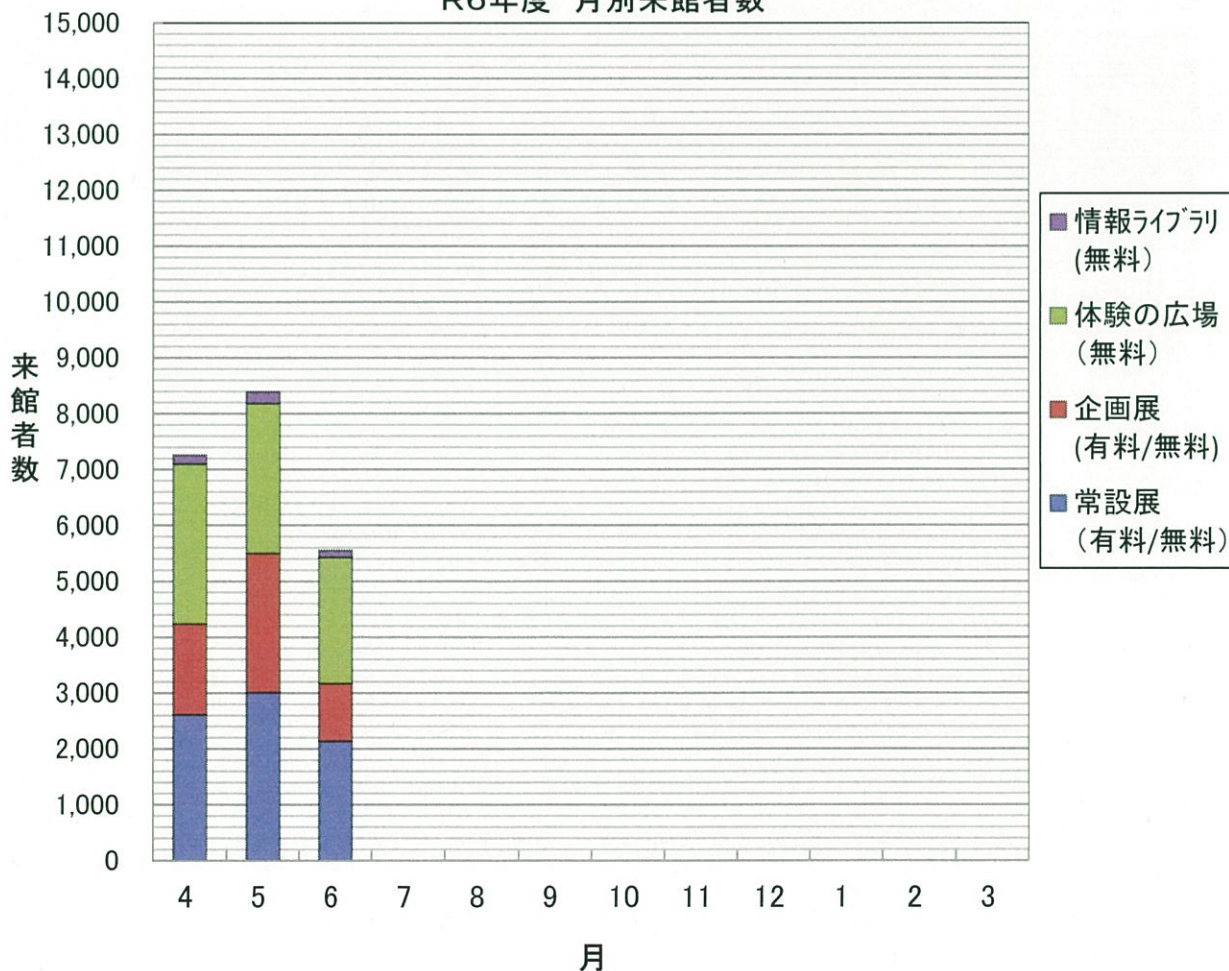
令和6年度目標観覧者数 85,000

○月別来館者数

| 月 | 開館日数 | 常設展 (有料/無料) | 企画展 (有料/無料) | 体験の広場 (無料) | 情報ライブラリ (無料) | R6月別 来館者数計 | 1日平均 来館者数 |
|----|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|---------------|--------------|
| 4 | 26 | 2,617 | 1,625 | 2,855 | 159 | 7,256 | 279 |
| 5 | 27 | 3,009 | 2,493 | 2,681 | 205 | 8,388 | 311 |
| 6 | 20 | 2,136 | 1,037 | 2,256 | 121 | 5,550 | 278 |
| 7 | 26 | | | | | 0 | 0 |
| 8 | 28 | | | | | 0 | 0 |
| 9 | 25 | | | | | 0 | 0 |
| 10 | 27 | | | | | 0 | 0 |
| 11 | 25 | | | | | 0 | 0 |
| 12 | 23 | | | | | 0 | 0 |
| 1 | 20 | | | | | 0 | 0 |
| 2 | 17 | | | | | 0 | 0 |
| 3 | 25 | | | | | 0 | 0 |
| 計 | 289 | 7,762 | 5,155 | 7,792 | 485 | 21,194 | |

* 企画展は貸室「現代工芸新潟会」の297人(R6.6.30時点)を含む

R6年度 月別来館者数



【資料2】

＜参考＞令和5年度 歴史博物館 来館者内訳

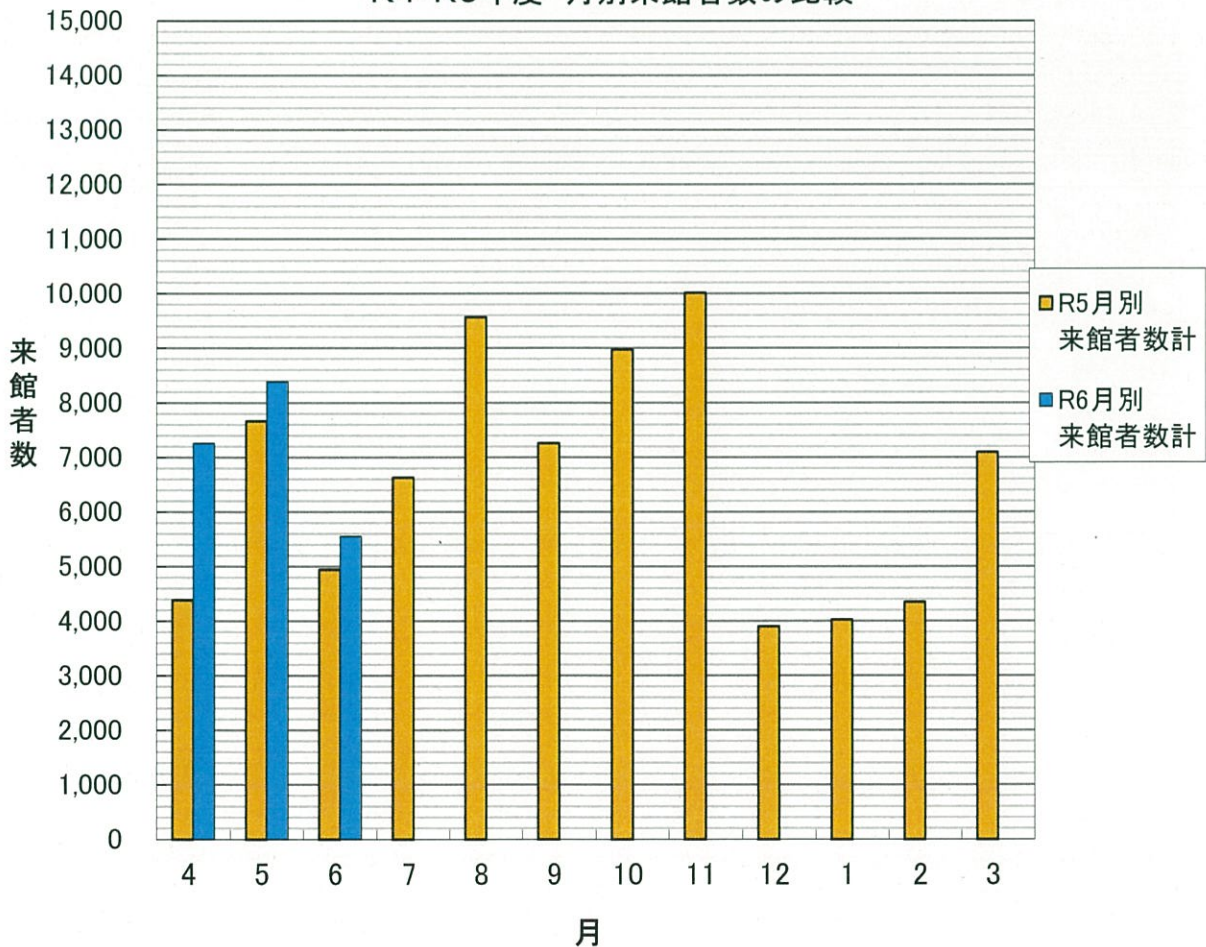
令和5年度目標観覧者数 77,000

○月別来館者数

| 月 | 開館日数 | 常設展 (有料/無料) | 企画展 (有料/無料) | 体験の広場 (無料) | 情報ライブラリ (無料) | R5月別 来館者数計 | 1日平均 来館者数 |
|----|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|---------------|--------------|
| 4 | 26 | 1,950 | 733 | 1,608 | 91 | 4,382 | 169 |
| 5 | 26 | 3,380 | 1,941 | 2,217 | 124 | 7,662 | 295 |
| 6 | 20 | 2,055 | 586 | 2,243 | 59 | 4,943 | 247 |
| 7 | 26 | 2,526 | 825 | 3,160 | 115 | 6,626 | 255 |
| 8 | 28 | 3,761 | 2,212 | 3,436 | 159 | 9,568 | 342 |
| 9 | 25 | 2,875 | 1,591 | 2,641 | 151 | 7,258 | 290 |
| 10 | 26 | 3,340 | 2,470 | 3,020 | 145 | 8,975 | 345 |
| 11 | 24 | 3,502 | 2,938 | 3,397 | 175 | 10,012 | 417 |
| 12 | 23 | 1,464 | 662 | 1,652 | 121 | 3,899 | 170 |
| 1 | 22 | 844 | 1,486 | 1,528 | 163 | 4,021 | 183 |
| 2 | 16 | 1,438 | 1,036 | 1,750 | 120 | 4,344 | 272 |
| 3 | 26 | 2,434 | 1,834 | 2,640 | 183 | 7,091 | 273 |
| 計 | 288 | 29,569 | 18,314 | 29,292 | 1,606 | 78,781 | |

* 企画展は貸室「現代工芸新潟会」の1,594人を含む

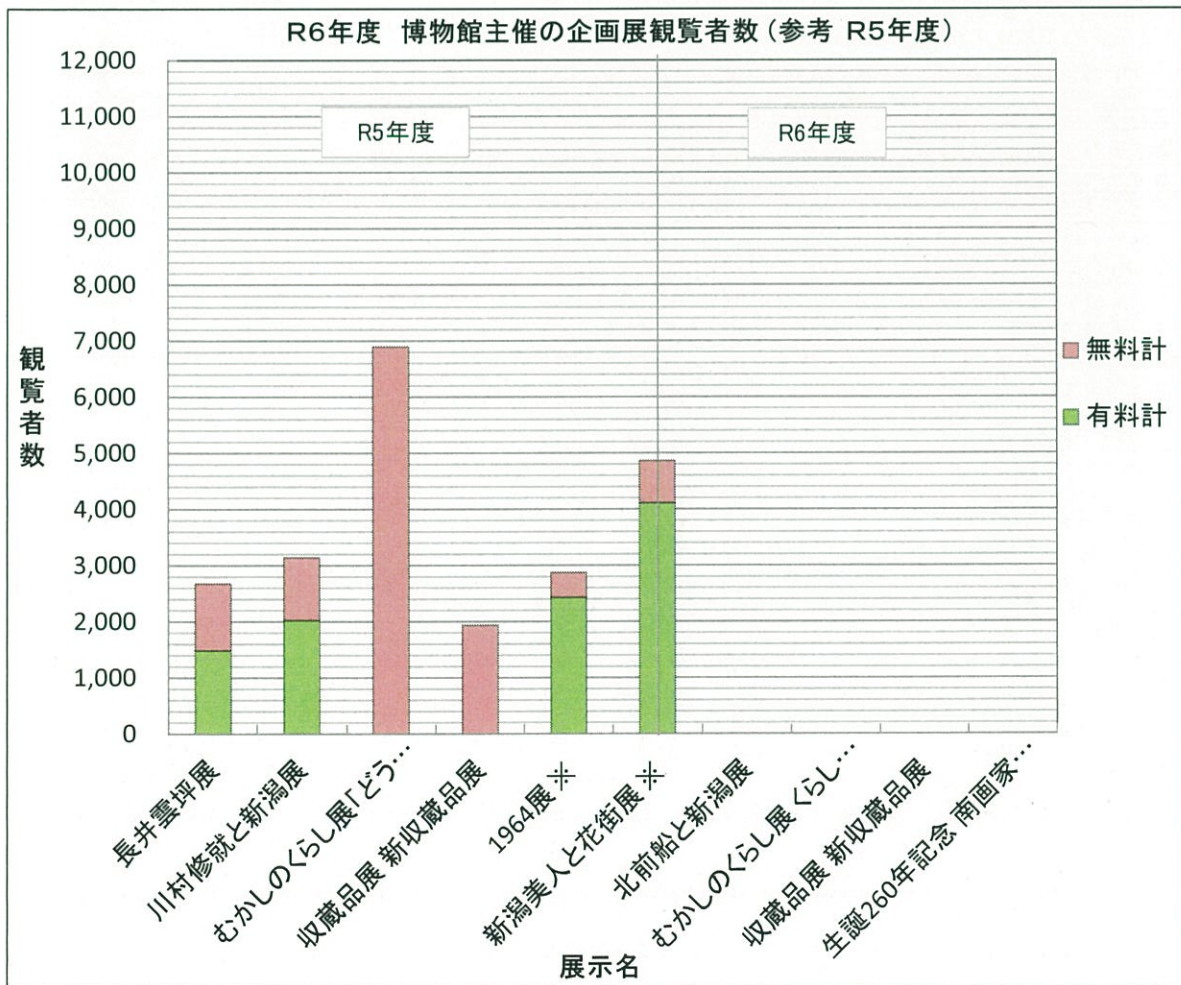
R4・R5年度 月別来館者数の比較



R6年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R5年度）

| | 企画展名 | 会期 | 開館日数 | 合計 | 有料計 | 個人 | 団体 | 無料計 | うち授業 | うち小中 土日無料 | 日平均 |
|-------------|-----------------------|------------|------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|--------------|-----|
| 5 年 度 | 長井雲坪展 | 4.8～5.28 | 44 | 2,674 | 1,486 | 964 | 522 | 1,188 | 354 | 148 | 61 |
| | 川村修就と新潟展 | 7.22～9.3 | 39 | 3,136 | 2,023 | 1,288 | 735 | 1,113 | 136 | 402 | 80 |
| | むかしのくらし展「どうぐのどうぶつえん！」 | 9.16～12.3 | 65 | 6,891 | 0 | 0 | 0 | 6,891 | 1,637 | 0 | 106 |
| | 収蔵品展 新収蔵品展 | 12.16～1.28 | 32 | 1,931 | 0 | 0 | 0 | 1,931 | 0 | 0 | 60 |
| | 1964展 ※ | 2.17～3.24 | 30 | 2,870 | 2,428 | 1,891 | 537 | 442 | 0 | 62 | 96 |
| 6 年 度 | 新潟美人と花街展 ※ | 4.13～6.9 | 51 | 4,858 | 4,111 | 4,099 | 12 | 747 | 58 | 78 | 95 |
| | 北前船と新潟展 | 7.27～9.1 | 33 | 0 | 0 | | | | | | 0 |
| | むかしのくらし展 暮らしの環境 | 9.14～12.1 | 67 | 0 | 0 | | | | | | 0 |
| | 収蔵品展 新収蔵品展 | 12.14～1.26 | 32 | 0 | 0 | | | | | | 0 |
| | 生誕260年記念 南画家石川侃齋展 | 2.8～3.30 | 42 | 0 | 0 | | | | | | 0 |

※は自主事業



令和6年度 新潟市文化財 旧小澤家住宅 事業実施状況 中間報告

《基本理念》 「公の施設目標管理型評価書」より

「新潟市文化財旧小澤家住宅条例」に基づき、「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するための各種事業を行う。施設の運営にあたっては、「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する基本協定」「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に遵守し、施設運営を通じて、新潟市の歴史文化施策の実現に努める。

《運営方針》 「公の施設目標管理型評価書」に記載の「管理運営方針」より

- ① みなとまち新潟の歴史並びに生活文化を紹介する。
- ② 市民の歴史・文化に対する理解、親しみ、郷土への愛着を深める。
- ③ 歴史・文化を媒体とした市民交流を行う。
- ④ 文化財を保存・活用する。
- ⑤ 新潟市の伝統工芸品の魅力紹介と販売促進に寄与する。
- ⑥ 観光施設としての役割を担う。

◆指定管理事業

1 常設展示・企画事業

| 事業名 | 開催期間 | 事業概要 |
|---------------------------------------|-------------|--|
| 常設展示 | 通年 | みなとまち新潟の歴史や生活文化、また小澤家や旧小澤家住宅について、グラフィックパネルやモニターを使い、紹介。 |
| 企画事業 | | 新潟町の歴史に関連した企画展や、旧小澤家住宅の風合いに合った企画展等を開催。 |
| ①「新潟歴史玉手箱」展 | 4月13日～5月19日 | 観覧者数 1,795人。 市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑・記念碑等、見過ごされている事物・事象を取り上げ、顕彰来歴をはじめ埋もれかけている歴史的内容を掘り起こし紹介。 |
| ②「民藝」展 | 5月25日～7月7日 | 観覧者数 2,234人。 筒描の夜着、しな布の暖簾、地元や東北の民謡の器、船算笥など、手仕事によって生まれた味わい深い品々を展示。 |
| ③桜井進一氏写真展「ふるさと新潟海岸～わかれは海の子～」 | 7月13日～9月1日 | 桜井進一氏の撮影した、昭和20年代後半以降の新潟海岸の写真を展示し、往時の姿を回顧する。 |
| ④「みんなの問題 海のゴミ」展 | 7月13日～7月21日 | 一般社団法人JEAN所蔵の海のゴミ問題の啓発に関する写真パネルを展示。 |
| ⑤新潟郵趣会展「オリンピックヤーに奮せて～時代と共に生きる切手の世界～」展 | 9月14日～10月6日 | 明治期以降の切手・絵はがきなどを通じて、郵趣の魅力の一端を紹介。今年がパリ五輪の開催年であることから、オリンピックに関連した切手などを展示する。 |

【資料3】

| | | |
|---------------------|---------------------|--|
| ⑥「新潟仏壇工芸」展 | 10月12日～11月4日 | 当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。 |
| ⑦小澤家の品々「明治期東京土産写真」展 | 11月16日～12月22日 | 小澤家の当主が持ち帰った、明治期の東京名所や著名人が写った名刺サイズの写真を展示する。 |
| ⑧「羽子板」展 | 令和7年 1月4日～1月19日 | 小澤家に贈られた華やかな羽子板を展示する。 |
| ⑨「ひな人形とからくり人形」展 | 令和7年 2月15日～3月23日 | 桃の節句に合わせ、小澤家や市内の家庭で飾られてきた雛人形を展示する。また新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛や江戸期のかからくり人形も紹介する。 |

成果・参加者の動向・課題等

企画展1本目、2本目とも観覧者が多く、順調である。民藝展については、受付の際に展示場所や展示物について尋ねられることが多く、民藝展を目的に来館されるお客様が多いと感じた。

2 教育普及事業

| 事業名 | 実施概要 |
|--------------|--|
| ①体験学習事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ふろしき講座 7月28日 講師：大嶋美樹子氏 ○仏壇工芸体験 10～11月 ○クリスマスフラワーアレンジメント 12月 ○稲穂でつくる正月飾り 12月 ○フラワーアレンジメントワンデイレッスン 1月 ○稲わらでつくるひな人形 2月 ○からくり人形実演 3月 |
| ②講座・講習・講演会事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○企画展の内容に沿った講座 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「街角の銅像・記念碑を楽しむ」 4月21日 講師：本井晴信氏 12人 ○古文書講座 <ul style="list-style-type: none"> ・「初心者のための古文書講座」 6月5、12、19日（全3回） 講師：本井晴信氏 ○庭園講習会 <ul style="list-style-type: none"> ・夏の講習会 6月22日（応募者なく中止） |
| ③ボランティアガイド | 登録者31名。養成研修後、審査に合格してガイドに登録。館内の案内活動を行う。5月18日に全体会と引き続き研修会を開催し、18人参加。 |

成果・参加者の動向・課題等

庭園講習会は市報にいがたで広報したが、応募者が無く、中止となった。秋の講習会の方法について検討したい。

3 施設普及事業

| 事業名 | 実施概要 |
|--------------------|--|
| 施設普及事業 | 旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、チラシ等の作成配布や、SNSによる情報発信、マスコミを通じたPRを行う。 また季節に合わせた館内のしつらえや、イベントの開催を行い、来館の動機付けを行う。 |
| ① 季節に合わせた設え | ○応接セットの展示 4月4日～5月8日 ○山野草の展示 5月11日～19日 ○贗戸入れ替え 5月31日 ○かえるまつり 6月1日～16日 ○さのこまつり 10月 |
| ② 季節に合わせた飲食を伴うイベント | ○藤見煎茶会 5月12日 ○夏至祭 6月16日 ○秋の大文化祭 11月23日 ○年忘れ煎茶会 12月 |
| ③ 企画展等に関連したイベント | ○市民企画フワワーアレンジメント「花で彩る」 令和7年1月 ○箏と尺八の演奏会 令和7年2月 |

成果・参加者の動向・課題等

設えに関して、応接セットの展示作業をボランティアガイドに、また贗戸入れ替え(夏向き・建具への衣替え)についても新潟大学の大学生・院生に手伝ってもらい、とても助かった。職員が少なく人手が足りないため、今後もボランティアや外部の方々との良好な関係を維持していきたい。

4 調査研究事業

| 事業名 | 実施概要 |
|--------|--|
| 調査・研究 | 市民が注目し関心のあるテーマの探求や当館の活動の発展のため、調査研究を行う。 |
| 成果・課題等 | |

5 収蔵資料の保存管理事業

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 実施概要 |
| 資料の収集・整理・保存 | 旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料は、保存と目録の作成を行う。 |
| 成果・課題等 | |

6 文化施設管理受託事業

| | |
|------------|--|
| 事業名 | 実施概要 |
| 旧小澤家住宅管理事業 | 文化財としての施設を良好に管理するとともに、来館者サービスの向上に努める。 |
| 成果・課題等 | 庭木の手入れが行き届いている、トイレがきれい、など来館者に褒めていただくことがよくある。この状況を維持していきたい。 |

◆付帯事業

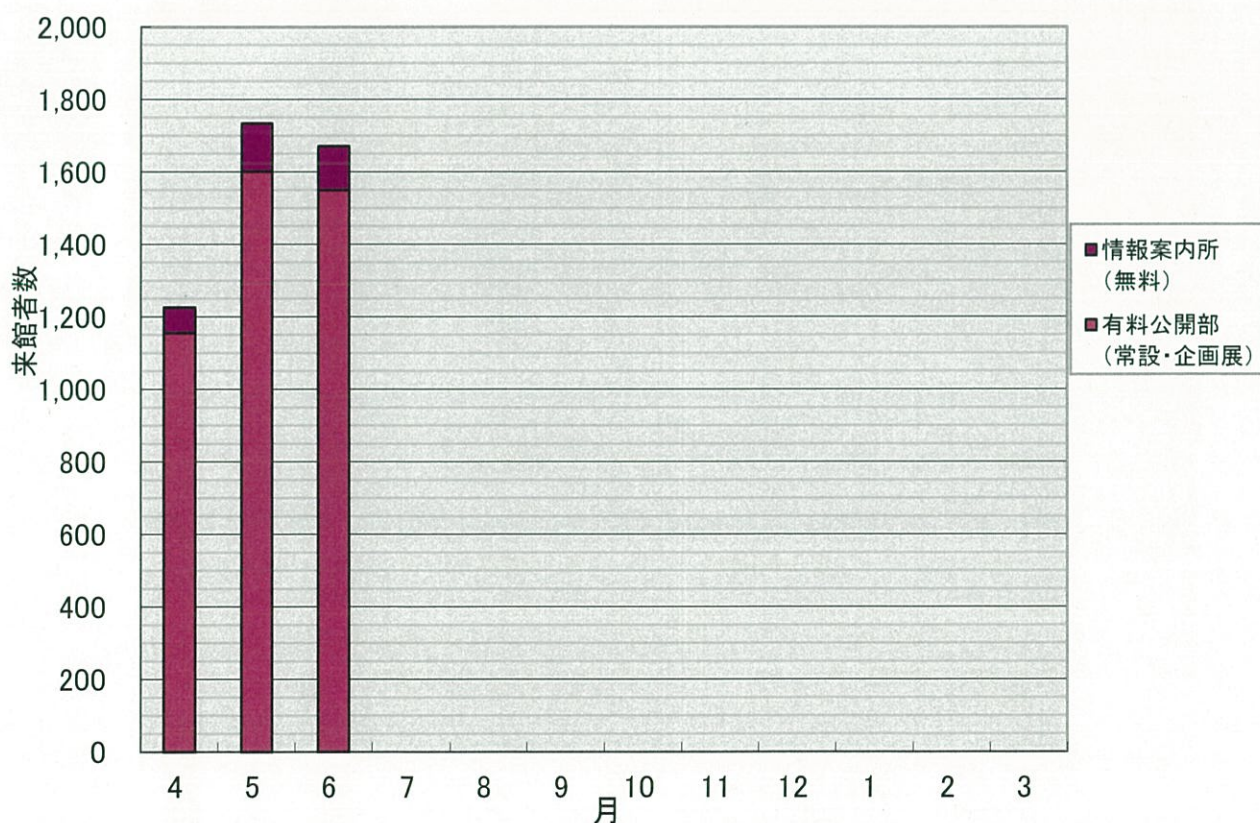
| | |
|--------|--|
| 事業名 | 実施概要 |
| 物販 | 来館者に対するサービスの充実を目的に、当館でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなどまちや歴史に関するグッズ等を扱ったミュージアムショップの運営を行う。 |
| 成果・課題等 | オリジナルのTシャツや手ぬぐい、また受託販売のふろしきや新潟ハイカラ文庫等が良く売れている。 |

令和6年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数(6月末現在)

| 月 | 開館日数 | 有料公開部 (常設・企画展) | 情報案内所 (無料) | R6月別 来館者数計 | 日平均 来館者数 | 備考 |
|----|------|-------------------|---------------|---------------|-------------|----|
| 4 | 26 | 1,155 | 71 | 1,226 | 47 | |
| 5 | 27 | 1,601 | 132 | 1,733 | 64 | |
| 6 | 26 | 1,549 | 122 | 1,671 | 64 | |
| 7 | 26 | | | 0 | 0 | |
| 8 | 28 | | | 0 | 0 | |
| 9 | 25 | | | 0 | 0 | |
| 10 | 27 | | | 0 | 0 | |
| 11 | 25 | | | 0 | 0 | |
| 12 | 23 | | | 0 | 0 | |
| 1 | 14 | | | 0 | 0 | |
| 2 | 17 | | | 0 | 0 | |
| 3 | 25 | | | 0 | 0 | |
| 計 | 289 | 4,305 | 325 | 4,630 | 16 | |

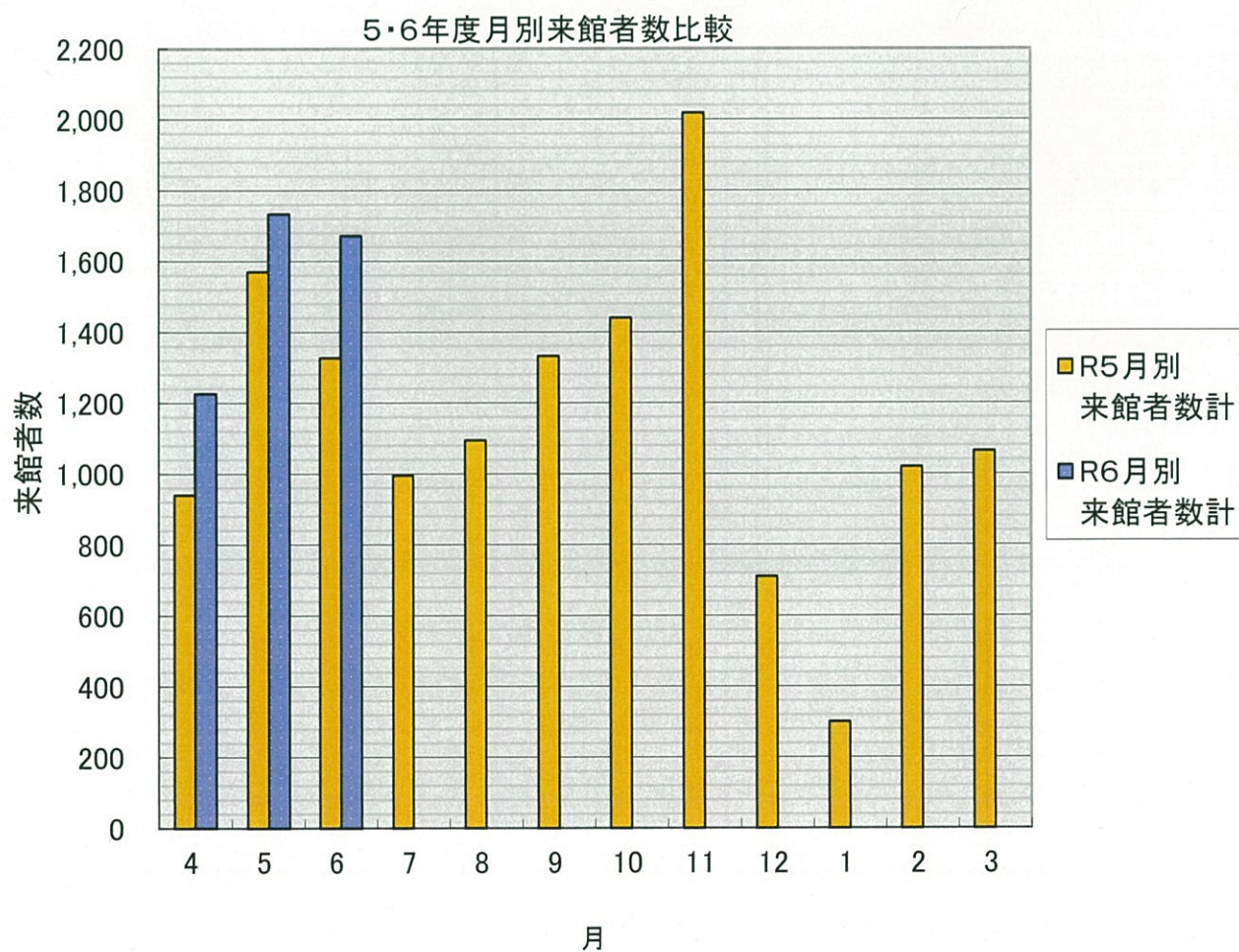
6年度月別来館者数



令和5年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

| 月 | 開館日数 | 有料公開部 (常設・企画展) | 情報案内所 (無料) | R5月別 来館者数計 | 日平均 来館者数 | 備考 |
|----|------|-------------------|---------------|---------------|-------------|----|
| 4 | 26 | 843 | 97 | 940 | 36 | |
| 5 | 26 | 1,449 | 121 | 1,570 | 60 | |
| 6 | 26 | 1,222 | 105 | 1,327 | 51 | |
| 7 | 26 | 856 | 139 | 995 | 38 | |
| 8 | 28 | 1,010 | 84 | 1,094 | 39 | |
| 9 | 25 | 1,173 | 159 | 1,332 | 53 | |
| 10 | 26 | 1,296 | 144 | 1,440 | 55 | |
| 11 | 24 | 1,924 | 94 | 2,018 | 84 | |
| 12 | 23 | 627 | 83 | 710 | 31 | |
| 1 | 16 | 265 | 35 | 300 | 19 | |
| 2 | 16 | 934 | 85 | 1,019 | 64 | |
| 3 | 26 | 1,007 | 57 | 1,064 | 41 | |
| 計 | 288 | 12,606 | 1,203 | 13,809 | 48 | |

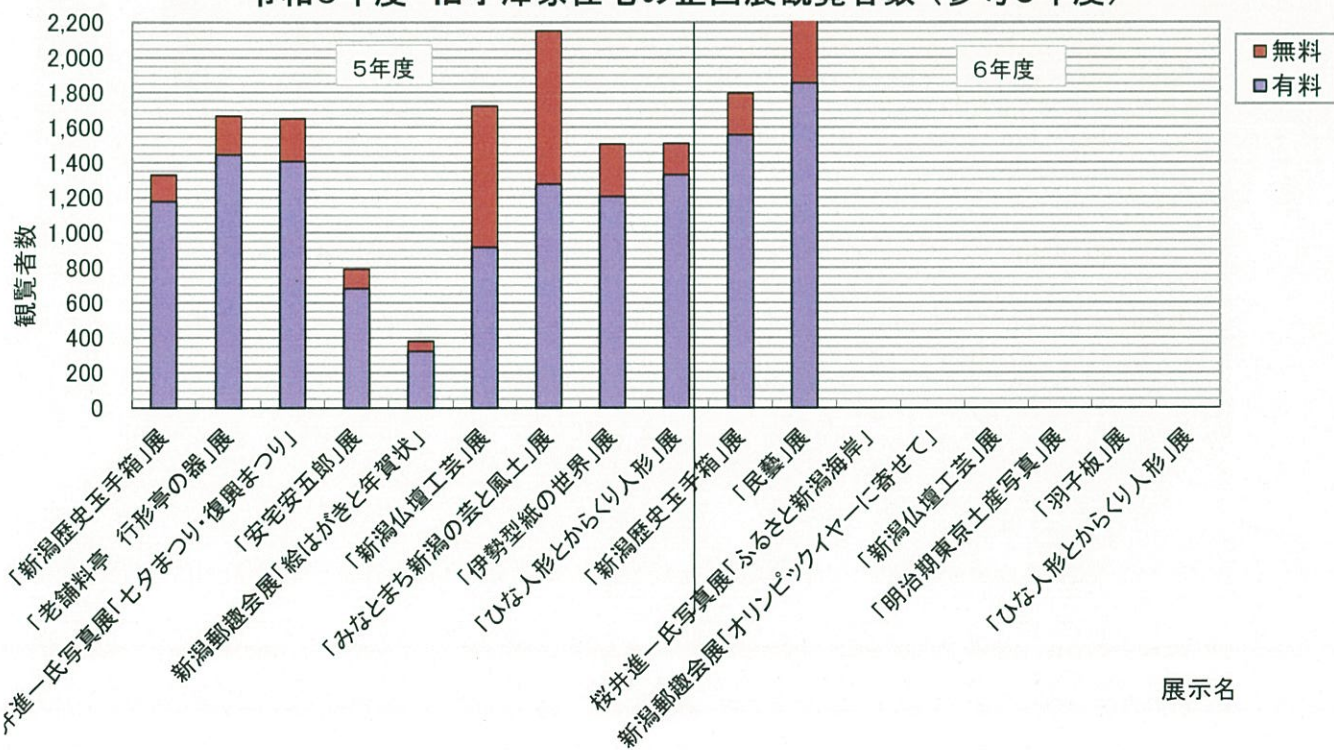


【資料4】

R6年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考5年度)

| | 企画展名 | 会期 | 合計 | 有料計 | 個人 | 団体・セット券 | 無料計 | うち授業 | うち小中土日無料 | 開館日数 | 日平均 |
|-----|-----------------------|----------------------|-------|-------|-----|---------|-----|------|----------|------|-----|
| 5年度 | 「新潟歴史玉手箱」展 | R5. 4. 1～5. 7 | 1,328 | 1,177 | 470 | 707 | 151 | | 9 | 33 | 40 |
| | 「老舗料亭 行形亭の器」展 | R5. 5. 20～6. 25 | 1,664 | 1,446 | 587 | 859 | 218 | | 26 | 32 | 52 |
| | 桜井進一氏写真展「七夕まつり・復興まつり」 | R5. 7. 5～8. 27 | 1,651 | 1,406 | 496 | 910 | 245 | | 16 | 48 | 34 |
| | 「安宅安五郎」展 | R5. 9. 9～9. 24 | 792 | 682 | 256 | 426 | 110 | 6 | 8 | 14 | 57 |
| | 新潟郵趣会展「絵はがきと年賀状」 | R5. 9. 30～10. 9 | 380 | 323 | 110 | 213 | 57 | | 4 | 9 | 42 |
| | 「新潟仏壇工芸」展 | R5. 10. 14～11. 5 | 1,722 | 916 | 321 | 595 | 806 | | 2 | 20 | 86 |
| | 「みなとまち新潟の芸と風土」展 | R5. 10. 25～11. 26 | 2,152 | 1,276 | 530 | 746 | 876 | 6 | 34 | 27 | 80 |
| | 「伊勢型紙の世界」展 | R5. 11. 18～R6. 1. 21 | 1,504 | 1,206 | 536 | 670 | 298 | | 37 | 49 | 31 |
| | 「ひな人形とからくり人形」展 | R6. 2. 17～3. 24 | 1,508 | 1,330 | 618 | 712 | 178 | | 20 | 30 | 50 |
| 6年度 | 「新潟歴史玉手箱」展 | R6. 4. 13～5. 19 | 1,795 | 1,557 | 395 | 1,162 | 238 | 10 | 10 | 33 | 54 |
| | 「民藝」展 | R6. 5. 25～7. 7 | 2,234 | 1,856 | 739 | 1,117 | 378 | 83 | 26 | 38 | 59 |
| | 桜井進一氏写真展「ふるさと新潟海岸」 | R6. 7. 13～9. 1 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 新潟郵趣会展「オリンピックイヤーに寄せて」 | R6. 9. 14～10. 6 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 「新潟仏壇工芸」展 | R6. 10. 12～11. 4 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 「明治期東京土産写真」展 | R6. 11. 16～12. 22 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 「羽子板」展 | R7. 1. 4～1. 19 | 0 | 0 | | | | | | | |
| | 「ひな人形とからくり人形」展 | R7. 2. 15～3. 23 | 0 | 0 | | | | | | | |

令和6年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数(参考5年度)



展示名